

令和6年（第18回）みどりの学術賞受賞記念イベント

みどりの研究者と話そう！ ～植物の生き方・植物との生き方～

「みどりの学術賞」は、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等にかかる研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与する賞です。このたび、令和6年みどりの学術賞を受賞された西村いくこ氏、横張真氏のトークイベントを開催します。受賞者の方々のお話を聞きながら、「みどり」の面白さ・大切さに触れる貴重な機会となりますので、ぜひ多くの方のご来場をお待ちしています。

日時：令和6年8月24日（土）13：30～15：00

第一部 13：30～14：10

みどりを守るってどういうこと？
～都市の自然はかわいそうか～

横張真 博士（東京大学総括プロジェクト機構特任教授）

横張博士は、畑や水田、森や公園など、都市に混在する様々な「みどり」が環境に与える影響について研究してきました。昔と今とで東京の気候はどのように変わった？都会の動植物はどのように暮らしている？皆さんも気になりませんか？未来の都市の「みどり」のつくりかたについて、博士と一緒に考えてみましょう。

ファシリテーション：日本科学未来館みどりの科学コミュニケーター 澤田 拓実 氏



第二部 14：20～15：00

しなやかに生きる植物から学ぶ
～観ることから不思議を感じる力を！～

西村いくこ 博士（奈良先端科学技術大学院大学理事、奈良国立大学機構理事、
神奈川大学理事、京都大学名誉教授、甲南大学名誉教授）

植物はじっと静かにしているように見えますが、実は細胞内のミクロの世界ではとても忙しく動き回っています。“観ること”を大切に、植物細胞の研究をしてきた西村博士と、植物の大胆な生存戦略に迫ります。植物細胞の中身はまるで列車のように高速で動き回っている？植物がまっすぐ伸びるのはなぜ？植物はどうやって病原体から身を守るの？…一緒にヒミツをのぞいてみましょう！

ファシリテーション：日本科学未来館みどりの科学コミュニケーター 青木 皓子 氏



開催場所：日本科学未来館 3階 ハブスペース

【申込方法】 事前申込制、無料、定員 40 名程度（お申し込み多数の場合は抽選となります。）

日本科学未来館 HP より、Miraikan ID にご登録いただき、お申し込み下さい。

イベントページ：<https://www.miraikan.jst.go.jp/events/202408243542.html>

【申込期間】令和6年7月12日（金）10：00～7月28日（日）

【主催】内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）、日本科学未来館

【お問い合わせ】内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室（林野庁森林利用課内）

電話：03（3502）8243 （担当：藤原、竹内）



第18回みどりの学術賞受賞者 功績概要

よこはり まこと

横張 真 氏

東京大学総括プロジェクト機構特任教授

「緑の多面的機能に基づく都市計画思想の展開とその社会への実装」に関する功績



グリーンインフラを自然的社会資本として捉えた都市・地域計画の基本となる「緑の多面的機能」について、農林地の国土保全機能や景観保全機能の解明等を通じ、農林地の構造と機能の関係性を総合的に体系化した。また、農林地と市街地の暫定的な小規模混在が日本を含むアジアの歴史的土地利用であることや、市街地と混在した水田の気温低減効果の解明等を通じ、「暫定」と「混在」を切り口とした持続的なグリーンインフラ計画論を構築した。さらに、国や自治体の各種専門委員会の委員長・委員や日本都市計画学会長、日本造園学会長を務め、研究成果の社会還元にも尽力してきた。これらの成果により、学術的基盤にもとづく緑の多面的機能の都市・地域計画への社会実装に大きく貢献した。

にしむら

西村 いくこ 氏

奈良先端科学技術大学院大学理事、奈良国立大学機構理事、
神奈川大学理事、京都大学名誉教授、甲南大学名誉教授

「植物の生存戦略における細胞内膜系の役割の解明」に関する功績



動くことができない植物が環境変化に備えるため、植物細胞に特徴的な細胞内膜系が重要な役割をもつことを明らかにした。具体的には液胞への種子貯蔵タンパク質の輸送と大量集積、並びに、ウイルスや細菌への感染及び植食性昆虫による食害に対する防御等に細胞内膜系の分化が重要な機能を持つこと、加えて多様な細胞内膜系への分化制御等を解明した。また、細胞骨格の解析から「植物の器官がまっすぐに伸びる」という基本的な器官運動の原理に関わる仕組み等を明らかにした。さらに、日本植物生理学会長として学会を先導するほか、国際植物分子生物学会理事を務めるなど国内外での学術推進に尽力した。これらの成果により、細胞内膜系の機能分化が植物の生体防御や環境適応等の生存戦略を構築しているという新たな概念を提唱し、植物科学の発展に大きく貢献した。

みどりの科学コミュニケーターがわかりやすくお伝えします

内閣府では、日本科学未来館の科学コミュニケーターを、みどりに関する科学的な知見を分かりやすく伝える「みどりの科学コミュニケーター（通称：みどりの SC）」に任命し、各種イベントやブログなどを通じて「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。本イベント当日も、みどりの SC が両博士の研究の魅力を紐解きます。



みどりの科学コミュニケーター：青木皓子さん 澤田拓実さん